

## 創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター 動物実験施設利用申請について

創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター動物実験施設(以下、「施設」という。)は、本学の研究戦略に基づき、創薬・機能性食品の製品化・事業化を目指す応用、開発、実用化研究等の推進を支援するための動物を飼育することを目的に設置され、平成23年度から利用を開始しております。

本施設の利用を希望する場合は、下記により申請手続きを行っていただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1. 利用の対象等

##### (1) 利用できる研究対象

主として創薬・機能性食品の製品化・事業化を目指す応用、開発、実用化等の推進を目的とした研究

##### (2) 利用形態

「3. 設備・環境, 負担料金」のとおり、「部屋単位」「ケージ単位」での利用が可能です。

下表の動物種等が対象となりますので、利用希望の場合は、事前に「6. 問い合わせ先」にてご相談ください。

飼育室名	動物種	ケージ数
3F SPF飼育室	マウス	1,680
	ラット	70
3F ウサギ飼育室(コンベンショナル)	ウサギ	42

##### (3) 利用許可及び期間

北海道大学創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター管理委員会にて目的・研究内容などを審査のうえ利用を許可します。

〔※利用許可期間:許可日から、1年以内。ただし、センター長が認めたときは、4回を限度に更新することができます。(最長5年)〕

なお、施設の利用を許可された者は、動物を搬入、実験を開始する日までに動物実験計画、遺伝子組換え計画について所定の手続きをしたうえで、承認書の写しを下記担当まで提出してください。

#### 2. 応募締切

毎月20日(20日が土日、祝日にあたる場合は、直近の金曜日)

※創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター管理委員会の議を経て、翌月1日付で利用許可書を利用代表者に通知します。

### 3. 設備・環境, 負担料金

利用代表者(本学の教職員)は, 利用に係る経費を負担するものとします。(「北海道大学創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム動物実験施設利用料金細則」より)

利用形態	設備・環境			負担料金		
	ラック	ケージ	飼育技術者による飼育等	動物飼育・管理料 (円/日)	施設 維持負担金 (円/年)	光熱水料等 (*)
部屋単位	有	有	有	マウス: 40円 ラット, ウサギ: 115円	18,000円/m <sup>2</sup>	実費負担
ケージ単位	有	有	有	マウス: 45円 ラット, ウサギ: 130円	—	—

\* 光熱水料等の単価等は本学の規程に従います。また, 電話料については, 実費の通話料を負担して頂きます。(基本料は機構が負担します。)

### 4. 提出書類

別紙様式 1 「北海道大学創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター動物実験施設(新規・変更)利用申請書」 1部

### 5. その他

(1)利用者は, 生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター長(以下, 「センター長」)の承認を得た上で研究に必要な機器類等を施設に搬入し使用することができます。

(2)利用者は, 施設を利用して行った成果を論文等により公表するときは, その論文に施設で行った事業であることを明記し, 論文等の写しをセンター長に提出するものとします。

### 6. 問い合わせ及び書類提出先

#### 【施設の設備・環境等に関する問い合わせ先】

生物機能分子研究開発プラットフォーム 推進センター長 幸田 敏明

電話 : 9062

E-mail : [t-koda@mail.sci.hokudai.ac.jp](mailto:t-koda@mail.sci.hokudai.ac.jp)

#### 【書類提出先】

北キャンパス合同事務部 研究協力担当 伊藤, 梶山

電話 : 9264, 9202

E-mail : [k-kenkyo@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:k-kenkyo@jimu.hokudai.ac.jp)